

# 伊賀市議会だより

No.85  
2026.5.1

特集

令和7年度伊賀市中学生議会  
こんな伊賀市にしたい！ 私たちがつくる未来 P2~3



行ってみよう  
聞いてみよう!



<主な掲載内容>

令和8年度一般会計予算	P 4
2月定例会議	P 6
1月緊急会議	P 9
市政を問う 一般質問	P11
活動報告	P17
インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介	P20

上野南部地区住民自治協議会

後列左から 会長 大谷 泰紀さん  
市民センター長 宮田 直美さん  
生涯学習支援員 福森 訓子さん  
市民センター事務員 片岡 幸子さん

前列左から 副会長 加藤 隆夫さん  
副会長 浅井佐代子さん  
副会長 大仁田富美子さん  
副会長 木宮 康介さん

関連記事は20ページ

特集

# 令和7年度伊賀市中学生議会

## こんな伊賀市にしたい！ 私たちがつくる未来



市議会では、若い世代の意見を市政に反映することや、課題を考え、提案する体験を通し、主権者として社会に参加する経験をしてもらうことを目的に、令和5年度から中学生議会を実施しています。今年も1月21日、10校から20人の議員が、学習環境から地域課題まで、自分たちが考え抜いたテーマで一般質問と議事進行を経験しました。市議会では今後も若い世代の声を聴き、市政に反映するよう活動していきます。

### 中学生議長の感想



霊峰中学校  
川口 海渡 議長

とても貴重な経験でした。緊張が徐々にほぐれ、しっかり議事を進められたと思います。同年代の質問を聴いて、自分も同じように感じる事が多かったので、代弁してもらっているようでした。市議会への興味関心がとても高まりました。

### 中学生議員の質問

#### 城東中学校

すべての人が安心して過ごせる伊賀市にするために



ウシキ ダイスケ 議員

祭の後など、たくさんのゴミが散乱していて悲しい気持ちになります。みんなが「きれいなまちだ」と思えるよう、ポイ捨てを減らすために市はどんな取り組みをしていますか。

映画館や商業施設など、若者が休日や放課後に行ける場所がもっとあればいいと思います。ニーズ調査や、私たちの意見を反映する場づくりは考えていますか。

#### 上野南中学校

動物にも人間にも暮らしやすい伊賀市にするために



馬場 亮太 議員

様々な事情で保護を必要としている猫が多くいます。人も動物も同じ命なので、見捨ててはいけなと思います。保護猫団体への助成などは検討されていますか。

登下校中にクマなどの野生動物に出会ったら、自分たちではどうしようもありません。バス停の鈴設置や警告灯、アプリ活用など、具体的な安全対策を教えてください。



田中 綺夏 議員

#### 柘植中学校

誰もが安心して過ごせる学校



清水 誠太郎 議員

冬は水道水がとても冷たく、あかぎれになることもあります。感染症対策の面でも温水化は有効だと思いますが、市としてどう考えていますか。

柘植中学校はトイレの数が少なく、避難所になる体育館には多目的トイレもなく和式のみです。誰もが安心して使えるよう、今後どう整備していきますか。



宮田 謙 議員

#### 霊峰中学校

防災について



西口 篤志 議員

校舎の老朽化が進み、壁がはがれたり、体育館の雨漏りが起きています。災害時にも安全な避難所にするための改修について、市の考えを教えてください。

災害時、指定職員だけで避難所運営はできるのでしょうか。中学生にもできることがあると思います。私たちに期待される役割を教えてください。



三根 鷹宗 議員

## 島ヶ原中学校 暮らしやすいまちづくり



中井 璃奈 議員

通学しやすくすることや、公共交通に頼る人の移動を支えるためにも、電車やバスの本数を増やすことが必要だと思います。市の考えを教えてください。

学生が勉強したり、地域の人と交流できる「憩いの場」が必要だと思います。島ヶ原会館や清流の空き部屋を活用することはできませんか。



荻田 雄瑠 議員

## 阿山中学校 阿山の魅力発信について



服部 秀飛 議員

阿山は自然豊かで落ち着いた場所ですが、もっと多くの人で賑わう地域になってほしいです。阿山地域の移住者数と空き家数の現状を教えてください。

阿山の魅力をまとめたマップを作りました。観光地や道の駅など、人が集まる場所に置けば、多くの人に阿山を知ってもらえると思います。市として協力してもらえますか。



片山 菜里 議員

## 大山田中学校 まちおこしにつながる施設及びその利用について



中西 陽菜 議員

大山田地域には娯楽施設やスポーツ施設が少なすぎると感じています。子どもから大人まで楽しめるよう、音響設備の整備はできませんか。

図書館が閉館すると、友達と勉強できる場所がなくなってしまいます。上野に行く交通手段も限られています。大山田にも図書館などを整備できませんか。



福山 由二 議員

## 青山中学校 みんなが暮らしやすいまちづくり



廣崎 太志 議員

行政バスの本数が少なく、放課後に学校で1時間近く待つこともあります。伊賀で暮らし続けたいと思う若い世代が安心して移動できる交通計画について教えてください。

鉄道もバスも本数が少なく不便なため、公共交通の利用が進まないのではないのでしょうか。中高生に対するモビリティマネジメントについてどのように取り組む計画ですか。



福田 愛心 議員

## 崇広中学校 どの世代でも安心・安全に暮らせるまちづくりについて



棚橋 杏生子 議員

図書館やハイピア伊賀は席が限られ、休日に友達と勉強できる場所が少ないです。空き家活用など、意欲的に学べるまちづくりを進める考えはありますか。

体育館は夏にとっても暑く、部活動中に熱中症になる人もいます。避難所にもなるので、エアコン設置やスポットクーラー増設を進めてください。



西 杏莉 議員

## 緑ヶ丘中学校 外国人が過ごしやすいまちにするために各国の言語への対応・新図書館に期待すること



平田 桃花 議員

外国に繋がりを持つ人などは、日本語だけの案内では生活しにくい場合があります。看板の二次元コード化やアプリの多言語化を進められませんか。

図書館の勉強スペースはテスト期間に混雑し、席が確保しにくいです。スマホでの混雑確認や仕切り整備などはできますか。



福森 美陽 議員

## 中学生議員の感想から

- 私たちが伝えなかったことを伝えられて、すごくよかった。機会を作ってもらえたことがすごく嬉しかった。
- 市長などたくさんの方に直接質問をして答えてもらうという、滅多にない貴重な経験になった。
- 貴重な体験をしたことをクラスの人たちに伝えたい。
- 緊張したけど楽しかった。
- 自分の伝えたいことを伝えられてよかった。
- 私たちが気になっていたことをたくさんの人に伝えることで、関心を持つ人が増え、改善につながると思った。
- 私たちの提案に「莫大なお金がかかる」という回答だったが、他の事業に何億円もかかっているなら、これもできるのではないかと思った。
- 私たちはおとながつくった社会で当たり前前に生きてきたが、これからは「社会をつくっていく」という立ち位置も意識しながら、勉強や生活を楽しんでいきたい。

# 「人をはぐくむ、くらしを守る 伊賀の

予算議案は、議長を除く全議員で構成する予算常任委員会に付託  
3月26日の本会議では、今議会に提出された当初予算

## いのちを守る

### 【主な事業】

- 防災機械器具購入費 307万8千円  
防災備蓄しているガスボンベ式発電機の更新を行う。また、災害時に通信状態が不安定なエリアの通信確保のためモバイルルーターを購入する。

- 倉庫新設工事費 790万9千円  
災害時に孤立のおそれがある地域に防災倉庫を設置する。(大滝区、桂区)
- 常備消防機械器具・車両購入費 7,507万9千円  
消防本部組織再編計画に基づき、消防ポンプ車等の更新を行う。

## くらしをささえる

### 【主な事業】

- 緊急連絡先安心サポート事業委託料 240万円  
身寄りのない生活困窮者を対象に、入所・入院時に必要なサービスの利用等ができないなど生命に関わる課題の解消を図るため、意志判断能力のある段階から緊急連絡先を確保する。
- 検診業務等委託料 8,343万8千円  
市民の受診機会の拡大及び肺がん検診受診率の向上を図るため、市が実施する個別がん検診の検査項目

- に、新たに肺がん検診を追加し、医療機関において受診できる体制を整備する。
- R S ウイルス定期予防接種業務委託料 1,152万1千円  
R S ウイルス感染症による新生児や乳児の重症化を防ぐため妊婦を対象にしたR S ウイルスワクチンの定期接種を行う。
- 水道事業補助 2億2,352万7千円  
物価高騰の影響を受ける市民や事業者に対し、経済的影響を軽減するための支援策として、水道基本料金を6か月減免する。(令和8年4月～9月検針分)

## ひとをはぐくむ

### 【主な事業】

- あやま文化センター施設活用等検討委員会報酬 15万6千円  
あやま文化センターの今後の利活用等について検討するための委員会を設置する。

- 文化芸術推進費 1,068万円  
伊賀市出身の書家・榊莫山の生誕100年記念展覧会を企画・実施する。
- 地域型保育給付費 6,023万円  
地域の実情に応じた多様で小規模な保育の受け皿を確保することを目的として、新たに満3歳未満の乳幼児のみに対する小規模保育事業等を行う地域型保育事業者に対し、市が国県の財源を基に、保育所等の人件費や施設運営に係る必要な給付費を支弁する。

## にぎわいをつくる

### 【主な事業】

- 渇水・高温対策事業補助金 30万円  
昨今の渇水や高温による水稻被害の軽減を図るため、対策を講じた農業者へ補助を行う。

- 自伐型林業推進業務委託料 257万7千円  
自伐型林業を推進していくための方針と目標及び具体的展開計画(ロードマップ)を策定し、森林整備率の向上、林業の担い手拡大を図る。

## 計画の推進

### 【主な事業】

- 伊賀市公共調達のあり方審議会委員報酬 30万円  
公契約に係る業務に従事する事業者の健全な育成、地域経済の活性化及び労働者の適正な労働環境の確

- 保を目的とした公契約に関する条例の制定を含む公共調達全般のあり方を審議する。
- 電話保守業務委託料 577万4千円  
電話対応品質の向上やカスタマーハラスメントを防止することを目的に通話録音装置を導入する。

# 「ひだまり予算」を議会が厳しくチェック

され、3月17日から19日までの3日間にわたって審査を行いました。  
に修正動議が提出され、修正案が可決されました。

## 一般会計予算にかかる討論

(本会議 3月26日)

- 賛成** スポーツ合宿誘致補助金100万円は市外からの宿泊1人当たり2,000円の補助で、市外から人を呼び地域経済の活性化を図るということですが、伊賀市の子どものためのスポーツ合宿や部活競技が充実できるように応援補助金を出したほうが将来のためになります。
- 賛成** この予算は伊賀市総合計画に掲げる施策を着実に前進させる内容となっており評価します。伊賀市の地域資源、人の力をいかながら、持続可能なまちづくりに繋がることを期待します。
- 賛成** 過去最大規模の予算となる一方、基金取り崩しや人件費増により財政の硬直化が進み、新たな投

資余力が少なく、学校施設整備など生活に直結する課題への対応が十分ではありません。限られた財源と人材の中で部局横断の取り組みと持続可能な財政運営の確立を求めます。

**反対** 同和関連予算には、特定地域を想定した事業など部落差別を固定化する施策および予算が含まれており認められません。また、18歳、22歳の市民の個人情報をも本人の同意なく自衛隊に提供することは止め、提供を望まない人への除外申請については個別周知を求めます。

### 発議第1号 議案第3号

令和8年度伊賀市一般会計予算に対する修正

賛成多数で  
可決

令和8年度一般会計予算に計上された体育施設整備事業における設計業務委託料660万6千円を削除

#### 【提案理由】

本予算は、阿山第2運動公園グラウンドの人工芝への張り替えを前提とした設計業務であるが、地域からの要望があったものの、これまでに市民や議会等に対し十分な説明がないまま事業が進められようとしている。令和3年5月に策定された「伊賀市スポーツ施設再編・整備計画」は、伊賀市公共施設最適化計画の方針を踏まえ、誰もが気軽かつ快適に利用できる施設を中長期にわたり効率的に維持・整備することを目的に策定された計画であるが、計画策定から5年が経ち、現在、見直しが進められているところであり、この際、当該事業についても、市のスポーツ振興を図るうえで大変重要な本計画にしっかりと位置付け、市全体のスポーツ施設整備の優先度等を十分に議論し、また、市民等への説明も丁寧に行ううえで予算計上すべきものであると考える。

#### ●討論(本会議 3月26日)

- 賛成** 令和7年度、令和8年度で見直しを進めている伊賀市スポーツ施設再編・整備計画を示していただき、伊賀市全体のスポーツ施設を見た時に中長期的にわたり維持でき、親しんでいただける施設を整備すべきです。財政面から見ても、優先順位をどうするか等、丁寧な議論が必要です。
- 賛成** 伊賀市で今日明日食べられない子どもがいます。今すべきことは、そういった子どもたちを助け、子どもたちも夢をもてる、希望をもてる環境をつくるのが市の責任です。
- 賛成** 本事業は総事業費7.8億円に上る大規模なプロジェ

クトであることが分かりました。大規模な公金投入を伴う事業だからこそ、改めて事業の優先順位を再定義し、将来にわたって責任をもてる形での適切な判断を求めます。

**反対** 人工芝化という1点で物を見ることなく、横串をさしたまちづくりを進めていくための、しっかりとした設計業務をもとにして考えていくための大切な事業だと思います。

**反対** 現時点では説明が不十分であるから止めるという段階ではなく、これまでの議論を踏まえつつ、さらに丁寧な説明と検討を重ねていく段階にあります。設計業務は事業内容や費用、課題を具体的に明確にし、その後の判断材料となります。

**反対** これを使うことによって、伊賀市の交流人口が増えたり定住される方が増えるかもしれません。スポーツツーリズムという言葉がありますが、それもこういうことに盛り込まれていくのだらうと思います。

**反対** 市長が提案する予算を削除する判断は極めて重いです。議会として議論を尽くすということ、検証をしっかりとすることが大事です。

**反対** 交流拠点としても大事な場所です。先行き厳しい財政状況ではありますが、こうして整備していく必要があります。



阿山第2運動公園グラウンド



## 伊賀市環境保全負担金条例の一部改正

## 市外ごみの環境保全負担金を引き上げ

賛成多数で  
可決

市外から搬入される一般廃棄物に対して徴収している環境保全負担金について、現在1トン当たり1,000円としているものを、可燃ごみについては、令和19年度以降、10年以上継続して持ち込まれている場合に限り、2,000円へ引き上げるものです。

可燃ごみは自区内処理が原則であることを踏まえ、市外からのごみ搬入の抑制を図ることを目的としています。

## ●主な質疑（総務常任委員会 3月10日）

**問** 市外から搬入されているごみの量や収入の状況はどの程度ですか。

**答** 搬入量は年間約20万トンから22万トン程度で推移しており、負担金収入は年間約2億1千万円から2億2千万円程度です。

**問** 現在持ち込んでいる団体の数と今後の見通しは。

**答** 現在、可燃ごみを搬入している団体は82団体ありますが、その多くは一時的な搬入であり、日常的な搬入はおおよそ10団体で、4団体以外は将来的には10年以内に自区内処理へ移行する見込みです。

**問** 10年間の期間を設けて負担金を引き上げる理由は何ですか。

**答** 可燃ごみは自区内処理が原則であり、近隣自治体が自区内処理のための施設を整備するにはおおむね10年程度を要するため、その期間を考慮して設定しました。

**問** 住民からの意見や地域への説明はどのような状況ですか。

**答** 地域の環境対策協議会などで、搬入量の増加に対する懸念や将来的には持ち込みを減らしてほしいという声があることを把握しており、今回の条例改正の内容については今後地域に説明していく予定です。

## ●討論（総務常任委員会 3月10日）

**賛成** 今回の改正が抑止力として機能することを期待するとともに、今後も住民との意見交換を行いながら、他自治体にも自区内処理を促していくよう求めます。



可燃ごみは自区内処理の原則を推進

## 伊賀市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

## 市長給与を1か月減額

全員賛成で  
可決

市長が起こした公務中の自家用車による接触事故に関し、報告義務を怠ったことの重大さを鑑み、令和8年4月の市長の給料月額を50%減額するものです。

## ●主な質疑（総務常任委員会 3月10日）

**問** 今回の給与減額について、市民からの意見はありましたか。

**答** 現時点で市民から特段の意見は届いていません。

**問** 減額の内容はどのようなものですか。

**答** 市長の4月分給与を92万4千円から46万2千円に減額します。

**問** 過去に同様の事例はありますか。

**答** 平成19年と平成24年に、市長自身の行為に伴う給与減額の事例があります。

## 伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正

## こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の開始に伴う利用料の新設

全員賛成で  
可決

令和8年4月から、未就園児が利用できる「こども誰でも通園制度」を開始します。月10時間まで利用可能で、利用料は1時間300円（減免あり）。本条例改正は、利用料を定めるものです。

## ●主な質疑（教育民生常任委員会 3月11日）

**問** 初めて保育所を利用する子どもへの対応をどのように考えていますか。利用状況や子どもの状況に応じて、職員配置の見直しは可能ですか。

**答** 事前に相談を受け、アレルギーや特性、家庭の様子などを聞き取りしたうえで保育を行います。利用状況や定期的な利用が見込まれる場合には、職員配置について検討します。

**問** 年齢別の定員を超える場合、柔軟な受け入れは可能ですか。

**答** 配置基準の範囲内であれば、年齢構成に応じた受け入れは可能です。

**問** 定員を超える申し込みがあった場合の調整方法はどのようになりますか。また、新規受け入れはどうなりますか。

**答** 事前に予約を受け付け、申し込み順で枠が埋まる仕組みです。定員を超える前には調整を行う予定です。

**問** 利用希望が集中し、競争率が高くなった場合の対応はどのように考えていますか。

**答** 需要が多いことが分かれば、部屋数の増加や利用定

員の見直しを検討します。

**問** 月10時間という利用上限と、利用料1時間300円の根拠は何ですか。

**答** 月10時間は国が制度として定めた上限であり、利用料は国が示す標準額です。

●討論(教育民生常任委員会 3月11日)

**賛成** 利用人数、利用時間および利用金額が設定されていますが、今後、利用者の声を丁寧に聴取し、必要に応じ改善に向けて検討されることを求めます。

**賛成** 国一律の総合支援システムには課題もあると考えられるため、利用者との面談や利用後の経過を丁寧に把握し、本当に必要な方に届くよう取り組まれることを求めます。また、周知についても、こどもの育ち支援課と連携し、必要な方に利用していただけるよう求めます。

●討論(本会議 3月26日)

**賛成** 経験豊富な保育士の配置など職員体制への配慮、周知の徹底と提供体制の確保を求めます。あわせて、制度の充実に向けた独自の取り組みの検討とともに、国に対して利用時間や法定価格の見直しを要望します。



令和8年4月より壬生野保育園にて開始

第5次伊賀市地域福祉計画の策定

地域のニーズを把握し、人材育成や相談支援を充実させ、だれもが安心して暮らせる地域づくりを進める計画です

賛成多数で  
可決

子育てや生活の困りごとなど、さまざまな福祉の課題に対し、関係機関が連携しながら、だれもが必要な支援を受けられる体制づくりを進めます。

●主な質疑(教育民生常任委員会 3月11日)

**問** 第4次計画と比べて、第5次計画は大きく変わっていますか。

**答** 基本的な考え方やめざす方向は引き継がれていますが、時代に合わせて指標の見直しや、取り組みの整理が行われています。特に、地域での支え合いや連携の重要性を踏まえた内容へと整理されています。

**問** 第5次計画で新たに強化された点はどこですか。

**答** 具体的な事業を位置づけ、進捗が分かるようにした点です。あわせて、自助・互助・共助を柱に、支え合いの仕組みを強化しました。

●討論(教育民生常任委員会 3月11日)

**賛成** 計画の策定は、行政が方向性を示しつつ、住民主体で進めることが重要です。そのため、住民自治協議会や地域福祉ネットワーク会議を機能させ、継続的に課題を抽出する仕組みが不可欠です。

**反対** 地域福祉ネットワーク会議の現状は、計画策定につながる議論が十分とは言えません。次の計画に向けては、住民自治協議会への働きかけやネットワーク会議の活用が不可欠です。

●討論(本会議 3月26日)

**反対** 地域福祉の担い手とされる住民自治協議会は、高齢化や担い手不足により運営自体が厳しいのが現状です。こうした中で本計画の実現には課題があると考えます。



39か所で地域福祉ネットワーク会議を開催、延べ1,013人が参加して意見を集約



地域の強みや弱み、理想、解決方法を書き出しました

伊賀市営住宅管理条例の一部改正  
伊賀市営住宅等整備の基準に関する条例の一部改正

民間の賃貸住宅を借上げ市営住宅として  
の使用が可能に

全員賛成で  
可決

老朽化が進む市営住宅の再編に向け民間の空室を借上げて活用できる仕組みを導入します。これにより住まいの確保が柔軟になり、新耐震基準を満たす住宅を増やすことで安心して暮らせる環境を整えます。

●主な質疑(産業建設常任委員会 3月16日)

**問** 市営住宅の用途廃止を進める理由は。

**答** 現在 40 団地 289 棟を管理しており、そのうち約 6

割が法定耐用年限を超えています。このため、入居者の居住水準を確保するため、大規模修繕ではなく民間の空室を活用することを考えました。

**問** 現在の入居者に移転の協力を求めるということですか。

**答** 用途廃止の対象となる団地に住む 26 世帯について、これまで他の市営住宅への住み替えをお願いしてきましたが、生活圏を変えないよう借上げ民間賃貸住宅への移り住みを考えています。

**問** 民間賃貸住宅に移ることで家賃は上がりますか。

**答** 家賃は上昇しますが、5年間で段階的に引き上げる国の激変緩和措置の制度を活用しながらご協力を得たいと考えています。

**問** 民間賃貸住宅の確保は可能ですか。

**答** 宅地建物取引業協会へ協力を申し出ており、令和 8 年度は 2～3 戸の確保を見込んでいます。入居契約は民間事業者、入居者および市が十分話し合う必要があります。

**問** 借上げ住宅の整備と業者の基準は。

**答** 昭和 56 年の新耐震基準を満たしていること。また、高齢者の入居を考慮して、低層住宅またはエレベーター付き住宅を想定しています。なお、耐火構造の住宅では借上げ期間中に法定耐用年限の 70 年を超えない住宅を考えています。

**問** 借上げ期間中の修繕はどのようになりますか。

**答** 建物本体の修繕は所有者が行い、室内は原則入居者が対応しますが、必要に応じて市が関与することも考えられます。



これからの住まいのあり方が見直されています

### 伊賀市火災予防条例の一部改正

#### 火災リスクの多様化に対応、サウナ、山火事対策など条例を強化

全員賛成で可決

サウナ設備など新たな利用形態を想定し火災リスクに備えた安全対策を明確化。地震時、強風時など火災が発生しやすい状況に発令する注意報、警報の運用を開始し情報発信を強化することで未然防止に取り組みます。(令和 8 年 3 月 31 日運用開始)

#### ●主な質疑(産業建設常任委員会 3月16日)

**問** 市内のサウナ施設数および今回の条例改正の対象となる施設はありますか。

**答** 市内に 8 施設ありますが、簡易サウナ設備の対象となる施設はありません。

**問** 林野火災注意報および林野火災警報の発令基準は。

**答** 林野火災注意報は、前 3 日間の合計降水量 1 ミリ以下かつ前 30 日間の合計降水量が 30 ミリ以下のときに発令し、林野火災警報は、これらに加え、乾燥注意報および強風注意報発令時、そのほか消防長が危険と認めたとときに発令します。

**問** 発令時の市民への周知方法は。

**答** 防災情報アプリ「ハザードン」および市ホームページへ掲載して周知します。

**問** 感震ブレーカーの普及率と分電盤タイプ別普及率および設置の必要性の周知方法は。

**答** 全国で 5% 程度と言われています。なお、市内の調査データはありません。今後、イベント等を活用し設置アンケートや周知を進めていきます。

**問** 焚火の届出制度と火入れの許可制度の仕組みは。

**答** 火入れは森林法に基づく許可制、焚火等は火災予防条例第 45 条に基づく届出が必要です。なお、過去 3 年間で火入れの届出はありません。

**問** 火災全般について周知するため、自治協単位に設けている防災行政無線を活用できませんか。

**答** 近隣住民からの苦情もあり、ハザードン、ホームページによる周知・啓発を行います。

#### ●討論(産業建設常任委員会 3月16日)

**賛成** 感震ブレーカーの普及について、全国でも普及率は約 5% と低く、伊賀市でも同様と考えられます。地震発生時には一人住まいの住民も多く普及を急ぐ必要があります。この条例がきっかけとなって普及が進むよう期待します。

**賛成** 周知、広報が大変重要です。この条例改正の内容や、林野火災注意報および警報の発令基準や火入れなどの火災予防について、住民に十分理解していただくよう努めることを期待します。

## 林野火災注意報・警報

令和 8 年 3 月 31 日運用開始!

指定する区域では、屋外での火の使用について制限されます!!

1月～5月	林野火災注意報	林野火災警報
<b>発令基準</b>	3日前からの降雨が1ミリ以下、かつ30日間の雨量が30ミリ以下のとき。	林野火災注意報の発令条件に加え、次の各号のいずれかに該当する場合に発令するものとする。 (1)乾燥注意報及び強風注意報が発令されたとき (2)消防長が火災予防上危険であると認められたとき
<b>火の使用制限</b>	火の使用制限の対象区域内では、火入れ、たき火等の火を使用する行為を行わないよう努めなければなりません。(努力義務)	火の使用制限の対象区域内では、火入れ、たき火等の火を使用する行為を行ってはなりません。(罰則のある義務) ※火の使用制限に違反した場合、30万円以下の罰金または拘留が科せられることがあります。

※ 指定する区域とは、森林法第 21 条により町村民長による火入れの許可制に便し森林及び、森林の周囲 1km 範囲内とします。  
※ 森林法第 21 条の規定による火入れの許可申請等に関することは、産業森林部未来の山づくり推進課へお問合せ下さい。(電話 0595-41-0934)

注意報・警報が発令された場合、以下のとおり火の使用が制限されます。  
○ 山林、畑野等において火入れをしないこと。  
○ 煙火(花火)を消費しないこと。  
○ 屋外において火盆びくたき火をしないこと。  
○ 屋外においては、引火性又は発火性の物品その他の可燃物の付近で喫煙をしないこと。  
○ 焚火(たき火)の燃焼(含む)取戻又は火程を始末すること。

**伊賀市消防本部 予防課 TEL: 0595-24-9105**

林野火災注意報、警報を運用開始し火災予防を強化

## 令和7年度一般会計補正予算(第9号)

### 11億3,922万9千円の減

全員賛成で  
可決

決算見込みによる補正を中心に、国の令和7年度補正予算で措置された事業等について補正しています。

#### 【歳出の主なもの】

##### 【総務費】

○伊賀鉄道維持管理経費 3,802万1千円

##### 【教育費】

○いがまち地区中学校区再編事業 1億4,051万1千円

#### 質疑(予算常任委員会 3月17日)

#### 民生費

**問** 生活保護事務経費の中のシステム改修委託料33万円の内容は。

**答** 最高裁の判例を受けて、生活保護追加支給に伴うシステム改修費です。

**問** 追加支給はいつ頃しますか。

**答** 夏頃追加支給します。



来年4月からのいがまち地区中学校統合に向けて改修等が行われる現在の霊峰中学校校舎

## 1月緊急会議

1月20日 議案2件を審議

### 伊賀市行政組織条例及び伊賀市支所設置条例の一部改正

#### 昨年創設した部の名前等の変更

可否同数で  
否決\*

部の名称「地域力創造部」を「交流創造部」「地域連携部」を「地域協働部」に変更

※可否同数のため、議長裁決により否決

#### ●主な質疑(総務常任委員会 1月20日)

**問** 市民から部の名称が分かりにくいという声があるというのは具体的にどの程度ありますか。

**答** 具体的な数までは分かりませんが、そういったお声があるということは聞いています。

**問** 費用対効果はどのように考えていますか。

## 令和7年度一般会計補正予算(第7号)

### 10億53万8千円の増

全員賛成で  
可決

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を財源に、物価高騰の影響を受ける市民や事業者等への支援に関する事業のほか、国の令和7年度補正予算により内示のあった補助事業に係る経費など所要額の補正。

#### 【歳出の主なもの】

○プレミアム付商品券事業委託料	3億4,206万4千円
○伊賀鉄道活性化促進事業	1,413万6千円
○公共交通利用者支援事業	7,149万3千円
○私立保育所等運営支援事業	665万3千円
○医療機関運営支援事業	1,416万4千円
○病院事業	1,877万1千円

#### ●討論(予算常任委員会 1月20日)

**賛成** 物価高騰支援であるプレミアム付商品券事業について、今後このような施策を実施される機会があれば、全市民・全業種に行きわたるような方法を検討していただくことを期待します。

**賛成** プレミアム付商品券事業について、低所得者に配慮した意義ある取り組みであると思います。次回は、より効果的なものとなるよう、今回の事業をしっかりと検証していただきたいです。



プレミアム率100%のかがやけ!くらし商品券

**答** 部課の名称変更にはプレートなどの経費がかかりますが、分かりやすくなるという効果があります。

#### ●討論(総務常任委員会 1月20日)

**賛成** 市民からの分かりにくいという声があるなら変更するべきです。

**賛成** 名称が変わっても中身が変わらないことを分かりやすく伝えてください。

**賛成** 組織改編には議論や経費も発生します。頻繁な変更が行われないよう慎重な検討を求めます。

**反対** 費用対効果が分かりにくいです。

**反対** 12月に行政組織条例の一部改正が否決されたばかりであり、組織条例変更には慎重な議論や検討が必要です。

# 審議した議案と各議員の賛否

## 1月緊急会議

○：賛成 ×：反対 -：西口議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成：反対	議決結果	浅川	内原	大石	陶山	寺村	山口	北山	西田	森中	福村	森川	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	赤堀	上田	百上	中岡
			友和	篤	亮子	美佐	京子	康子	太加視	方計	秀哲	教親	徹	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	久美	宗久	真奈	久徳
市長提出議案 令和7年度伊賀市一般会計補正予算（第7号）	20：0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
伊賀市行政組織条例及び伊賀市支所設置条例の一部改正	10：10	※否決	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	○	○	×	×	×	○	○	×

※可否同数のため、議長裁決により否決

## 2月定例会会議

○：賛成 ×：反対 -：西口議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成：反対	議決結果	浅川	内原	大石	陶山	寺村	山口	北山	西田	森中	福村	森川	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	赤堀	上田	百上	中岡
			友和	篤	亮子	美佐	京子	康子	太加視	方計	秀哲	教親	徹	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	久美	宗久	真奈	久徳
市長提出議案 令和8年度伊賀市一般会計予算	19：1	*可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
令和8年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
令和8年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
伊賀市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○
伊賀市環境保全負担金条例の一部改正	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×
伊賀市過疎地域持続的発展計画の策定	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○
第5次伊賀市地域福祉計画の策定	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○
伊賀市国民健康保険税条例の一部改正	19：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
議員提出議案 議案第3号 令和8年度伊賀市一般会計予算に対する修正	11：9	可決	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	-	×	×	○	○	○	×	×	○	○

※発議第1号で修正議決された部分を除く

### 全員賛成で可決（承認・同意を含む）した議案

市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度伊賀市駐車場事業特別会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市介護保険事業特別会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市サービスエリア特別会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市病院事業会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市水道事業会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市下水道事業会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計予算</li> <li>令和8年度伊賀市大山田財産区特別会計予算</li> <li>令和7年度伊賀市一般会計補正予算（第9号）</li> <li>令和7年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）</li> <li>令和7年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）</li> <li>令和7年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）</li> <li>令和7年度伊賀市サービスエリア特別会計補正予算（第1号）</li> <li>令和7年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）</li> <li>令和7年度伊賀市病院事業会計補正予算（第3号）</li> <li>令和7年度伊賀市水道事業会計補正予算（第2号）</li> <li>令和7年度伊賀市下水道事業会計補正予算（第2号）</li> <li>令和7年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算（第2号）</li> <li>令和7年度伊賀市大山田財産区特別会計補正予算（第2号）</li> <li>伊賀市公共調達のあり方審議会設置条例の制定</li> <li>伊賀市地域防災計画に定める大規模工場等の用途及び規模の基準に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市行政手続条例の一部改正</li> <li>伊賀市地域活動支援事業審査会条例等の一部改正</li> <li>伊賀市特別職報酬等審議会条例の一部改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市上下水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正</li> <li>あやま文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市インターネットを介した人権侵害のない社会づくり条例の一部改正</li> <li>伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正</li> <li>伊賀市介護保険条例の一部改正</li> <li>伊賀市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部改正</li> <li>伊賀市営住宅管理条例の一部改正</li> <li>伊賀市営住宅等整備の基準に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市空家等の適正管理に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市火災予防条例の一部改正</li> <li>訴えの提起（6件）</li> <li>事業契約の変更</li> <li>市道路線の認定</li> <li>辺地に係る総合整備計画の策定</li> <li>専決処分の承認</li> <li>伊賀市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正</li> <li>人権擁護委員候補者の推薦（福山 康宣氏、中森 宜光氏、中井 洸一氏）</li> </ul>
--------	--	--

# 市政を問う

## 一般質問

一般質問は、3月5日、6日、9日の3日間で、17人の議員が市政に対して質問をしました。その主な内容を掲載しています。

二次元コードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

ふくむら のりちか  
**福村 教親** 議員

### 質問項目

- 市長の公務中の接触事故に対する報告義務を怠った事案



### 問 市長の公務中の接触事故報告義務違反

本件に対する事実確認、政治的・道義的責任、再発防止と信頼回復への取り組みは。

### 答 何よりも重大な誤りは事故直後に警察への報告義務を怠ったことです

法令的に義務違反と認識しており、深くお詫び申し上げます。目撃者からの通報を受け、警察の捜査により接触事故と処理されました。当時は「この程度なら大丈夫だろう」という大変甘い認識でした。法令を遵守し市民や職員の模範となるべき市長として、その自覚を欠いた信頼を損なう行為であり到底許されるものではありません。

公職者としての基本をおろそかにした自分自身を深く恥じています。

今後は自らを戒め、市民の期待に応えるべく二度と繰り返さないことは当然であり、公約実現や市政改革に全力投球、粉骨砕身取り組んでまいります。

### 問 子ども参画によるこどもの権利条例の制定を

子どもたちが「自分たち自身の条例だ」と思えるような制定過程にする考えはありますか。

### 答 子どもと大人が対話を重ねて作る条例に

子どもを変えるのではなく、大人側のアップデートが重要です。子どもを未熟な存在と決めつけず同じ目線で意見に耳を傾け、自ら考え選択できるよう、まち全体で支えます。自分の声で社会が変わる実感は、自己肯定感の礎になります。策定段階から子どもに主体的に関わってもらい、意見をどう生かしたかを示し、前文への反映

も検討します。

### 問 図書室が廃止された地域の居場所機能をどう確保しますか

図書館は本の貸出だけでなく、学習スペースや世代を問わず過ごせる居場所としての役割も担っています。

### 答 世代を問わず過ごせる居場所は重要です

地区市民センター等の活用も検討していきます。幅広い市民の参画で十分に議論し、地域の人が集える居場所づくりに取り組んでいきたいと考えています。

おおいし りょうこ  
**大石 亮子** 議員

### 質問項目

- 子どもの権利条例制定における子どもの参画
- 図書館の集約と地域の居場所



みやざき えいき  
**宮崎 栄樹** 議員

### 質問項目

- 農業の渇水・高温対策にどう取り組むか
- 伊賀の企業発見フェア「イガプロ」の可能性を広げよう！
- 過疎地域の地域福祉をどう進めるか



### 問 伊賀の企業発見フェア「イガプロ」のめざす姿は

2月21日に開催された「イガプロ」には、市内製造業24社が出展し、多くの参加者でにぎわいました。現場を見て、市内企業が輝き、誇りを持てる状態をつくることの重要性を強く感じています。「イガプロ」の展望を伺います。

### 答 地域経済が活性化する好循環を確立します

市内企業の生産性向上やイノベーションの誘発、人材や新たな企業を呼び込む流れをめざします。

### 問 渇水対策をどう進めますか

少雨の影響により、ため池の貯水量低下や河川流量の減少が見られるなど、農業用水の確保が不安定になりつつあります。市内において、ため池の渇水が営農継続に直結する深刻な課題となっている現場の調査も行いました。次年度の対策を伺います。

### 答 市独自のセーフティネットを構築します

国の補助対象外の経費をカバーする制度として、ポンプの運転経費やサイホンの新設・補修などを助成対象にすることを想定しています。

# 一般質問

すやま みさ  
**陶山 美佐** 議員

## 質問項目

- 市営住宅
- 青山保健センター運動施設プールの今後



**問** 市営住宅の入居状況を教えてください

現在の入居世帯数や高齢者世帯の割合を教えてください。また、高齢者の見守りや生活支援はどのように行っていますか。

**答** 約半数が高齢者世帯です

市営住宅の入居世帯数は944世帯、高齢者のみの世帯は470世帯、うち単身者世帯は294世帯です。見守りや生活支援は、地域住民や民生委員から相談があれば訪問し状況を把握。関係部署や地域と連携し、必要な福祉サービスにつなげ支援を行っています。

**問** 八幡町地域の市営住宅の将来ビジョンは

地域のまちづくりの基点として、地域全体の将来像を見据えて進めることが重要と考えます。どのようなまちづくりをめざしますか。

**答** 持続可能なまちづくり

市営住宅の再編・集約を進めるにあたり、まちづくりの視点に立ち、関係部署が連携しながら、住民自治協議会や地域住民とともに、持続可能な住宅と地域づくりの将来ビジョンを検討していく方針です。

**問** 伊賀鉄道の経営状況は

**答** 経営面は厳しい状況です

平成29年の公有民営化以降平均で年間マイナス8,500万円になり経営面は厳しい状況が続いています。

**問** これまでの経営改善策とその成果は

**答** 目標は達成できていません

四十九駅の開業やスマホ定期の導入、企画列車の運行など様々な取り組みを行ってきましたが鉄道事業再構築実施計画の目標は達成できていません。

**問** 今後の策は

**答** 様々な策を検討しています

JR西日本・近鉄との連携による周遊性

の向上、新たな決済方法の導入なども検討しています。

**問** 伊賀鉄道を廃止にした時に代替のバスを走らせたりすることによるマイナス効果を算出したことは

**答** クロスセクター効果という考え方があります

交通の多面的な効果を可視化するツールとしてクロスセクター効果\*があります。医療・福祉・教育・観光等複数の分野にまたがる効果があり、鉄道が存在することによる社会的な便益も考慮する必要があると考えています。

\*運行を廃止した場合に他の行政分野で必要となる代替費用と運行にかかる行政支出を比較することでその多面的な価値を可視化したもの。

もりかわ とおる  
**森川 徹** 議員

## 質問項目

- 市職員のSNSの取り扱い
- 伊賀鉄道の今後



きたやま たかし  
**北山 太加視** 議員

## 質問項目

- 上野総合市民病院の経営
- 公共施設最適化計画の進捗



**問** 上野総合市民病院の病院経営強化プランの達成状況は

**答** 医療体制の向上と経営の安定化に努めています

質の高い医療を提供して、より多くの患者さんから選ばれる病院となって、経営を安定させることをめざして病院経営強化プランを策定しました。

コロナ前の令和元年度の入院患者数は延べ約7万2千人、令和6年度は6万6千人と回復途上にあります。また、令和6年度に3億8,700万円の赤字となりましたが、調査によると全国の自治体病院の95%は赤字経営という状況があります。

医師の確保は年々厳しさを増し、初期臨

床研修医を令和6年度から迎え入れるなど対策に努めています。さらに看護師・薬剤師・作業療法士・言語聴覚士など医療技術スタッフの確保も困難になりつつあります。一方、病院に設けた意見箱から、職員の接遇面に関する満足度は年々向上しています。

また、毎月末の金曜日には運営会議で経営方針や課題などを共有して改善に努めています。

# 一般質問

きたもり とおる  
**北森 徹** 議員

## 質問項目

- 伊賀市における稼げるまちづくり



### 問 ふるさと納税で他市との差は

茨城県境町の令和7年度の寄付金額は約99億3,800万円で、伊賀市は約7億5千万円です。その差は。

### 答 伊賀市はブランド重視です

境町のようにお米の低価格、数の戦略ではなく、伊賀市はブランド重視で特A米といった他にない物の価値を理解してもらえ戦略を取っており、今後もSNS等をもっと活用してPRに努めます。

### 問 伊賀市の観光プロモーション予算の割合は

岐阜県高山市の令和7年度観光プロモーション費は約27億円、一般会計における割合は3%で、実際高山市には多くの外国人が

観光に訪れています。

伊賀市もインバウンド誘客等に向け、自主財源を作り、戦略的に突き抜けた投資が必要と思いますが、どれくらいの予算をかけていますか。

### 答 伊賀市の現状は1.4%

高山市のプロモーション費にはブランド戦略に係る予算も含まれていると考えられ、伊賀市の令和7年度における同様の予算額は約6億6千万円で一般会計における割合は1.4%です。

### 問 リユースの推進でごみの減量化を

ごみの減量化・資源化推進に向け市としてリユースに取り組む意義を伺います。子ども服や制服、学校の補助教材などのリユースに取り組んでください。

### 答 リユースは持続可能な地域づくりです

リユースは持続可能な地域づくりの取り組みであり、廃棄物や温室効果ガスの削減、リユースイベントを通じて住民の交流促進などの意義があります。子ども服のリユースは子育て支援や貧困対策に有効と考え、リユース情報の提供等に努めます。経済的負担軽減の観点から卒業時に制服、体操服など寄附の声掛けをしています。

### 問 育児短時間勤務で子育てと仕事の両立を

子育て中の公務員の時短勤務が小学校入学するまで可能になりましたが、申請どおりの部分休業になっているか現状を把握してください。

### 答 取得当事者の声を拾い報告します

使いやすい制度かどうか当事者の声を拾い、働き続けられる環境を整えてまいります。

ももがみ まな  
**百上 真奈** 議員

## 質問項目

- 伊賀市の読書活動と学校図書館
- 一般廃棄物処理基本計画とごみの資源化推進
- 子育てと仕事の両立



ももい ひろこ  
**桃井 弘子** 議員

## 質問項目

- 市長の政治的スタンス（その3）
- 防災



### 問 阿波診療所に対して検討していることは

国民健康保険加入者の利用が少ないならば、阿波診療所を存続させるため国民健康保険事業特別会計から一般会計に移行するなど様々な手法があると思いますが、検討していることは。

### 答 あらゆる可能性を検討しています

国民健康保険の直営施設では廃止にし、市全体の地域医療の見地からあらゆる可能性を検討しています。

### 問 火災発生後の教訓を生かした今後の対応は

2月6日発生の上阿波火災において、消防団の可搬ポンプと発電機のガソリンが2時間程度でなくなり、また長時間の活動のため無線機の充電が切れました。今後の対応は。

### 答 消防団と振り返りや協議を行います

団員の疲労対策、個人装備の充実、現場での物品供給等の対応を行っていきます。

# 一般質問

あさかわ ともかず  
**浅川 友和** 議員

## 質問項目

- 子ども期から若者期へつなぐ若者定住政策
- 妊娠期における伴走支援と連携体制
- 地域公共交通の将来ビジョン



### 問 子ども期に投資し、若者期で取りこぼしていませんか

子ども期に育った人材が若者期に市外へ流出する現状をどう認識していますか。また、子ども政策を若者定住につなげる考えは。

### 答 教育や就業支援で若者定住へ

地域とつながる教育やキャリア教育により伊賀で働くイメージを育み、子育て支援などで転出抑制やUターンにつなげていきたいです。

### 問 奨学金等返還支援の検証と見直しを

制度の効果をどう検証していますか。

### 答 制度の検証と見直しを検討

若者の転入・転出の状況を確認しながら制度の見直しを進めたいです。

### 問 妊娠期から寄り添うまちへ

伴走型支援を伊賀市の価値として位置づける考えは。

### 答 切れ目ない支援を魅力として発信

妊娠期からの伴走型支援を市の魅力として発信していきたいです。

### 問 若者定住を支える公共交通を

通勤通学の利便性をどう位置づけますか。

### 答 公共交通ネットワークの形成へ

交通ネットワークの形成や空白地域の解消を進めていきたいです。

### 問 伊賀市地域防犯カメラ設置補助金制度の見直しを

現在実施の補助制度は、自治会が対象であり、人口が少ない地域は自治会負担の費用が無く申請ができない状況にあります。広域的に考え住民自治協議会単位の申請を可能とすべきです。

### 答 良い制度に見直します

自治会と住民自治協議会が協力しなければ設置することが難しいという意見を聞いていますので、住民自治協議会も補助対象とします。

### 問 身寄りがない高齢者等の総合的な支援の取り組みを

身寄りがない方々は入院・入所時、緊急連絡先の指定などの支援が必要な時、民間事業者は高額なため利用できません。このような高齢者単身世帯に対する支援が必要では。

### 答 全国初の取り組みを実施

令和8年度の新規事業「緊急連絡先等安心サポートモデル事業」を実施します。生活状況及び健康状態の把握を基本業務として緊急時連絡先受任や入退院及び入退所の手続き等を、後見業務も担っている行政書士と連携し実施するので安心できます。

あかほり くみ  
**赤堀 久実** 議員

## 質問項目

- 地域の安全対策
- 誰もが安心して歳を重ねることができる「幸齢社会」づくりの実現
- HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン接種



にしだ みちかず  
**西田 方計** 議員

## 質問項目

- 横断的な人権啓発の充実
- 「市民憲章」の周知状況と活用
- 「都市マスタープラン」多核連携型都市実現に向けて
- 「過疎地域持続的発展計画」の期限を迎えて
- 遊びごころのある伊賀市役所に



### 問 横断的な人権啓発の充実を

組織づくりの時機を捉えた啓発の展開を。

### 答 自分事となりうる啓発を進めます

窓口での啓発をはじめ、住民自治協議会やPTA等で新体制が位置付くこの時機に主体的な啓発や研修が進むように働きかけます。

### 問 市民憲章を活かしていますか

### 答 これまで以上に周知をはかり、まちづくりのよりどころとしていきます

まだ周知の余地はあります。市役所玄関への設置も検討します。子どもたちにも学ぶ機会をつくっていきます。

### 問 多核連携型都市の実現を

都市マスタープランに謳う地域拠点づくりの進捗は。

### 答 横串を刺して「攻めの拠点づくり」を進めます

容易ではありませんが、拠点づくりのために地域の多様な資源を洗い出し各種団体とともに連携・協働することが不可欠です。今後は人づくりにも視点を当て取り組めます。

# 一般質問

ふくおか せいこう  
**福岡 正康** 議員

## 質問項目

- 大山田公共施設複合化整備方針「10月21日議員全員協議会資料」
- 伊賀市消防団活性化計画
- 大山田地内に建設予定の産業廃棄物最終処分場



## 問 大山田公共施設複合化整備方針

10月23日の大山田区長連絡会終了後、整備方針について地元説明はされましたか。

## 答 山田診療所廃止について説明しました

10月23日の説明会で、反対の声があった山田診療所廃止について、健康福祉部長が山田地域住民自治協議会に4回説明に行きました。

## 問 第4次消防団活性化計画の作成方針

活性化計画で、消防団・支援団員の定数をどのような方針で定めますか。

**答** 地域の声や考えを反映した実効性のある計画を住民自治協議会の声も聴き、消防団と共に作っていきます

## 問 産業廃棄物最終処分場建設許可については

市長は産廃建設阻止で腹をくくってと話されていますが、どのように腹をくくのか具体的に教えてください。

**答** 住民の思いや審議会の結果をふまえて、腹をくくって適切に判断していきます。また、大山田地域での活動に敬意を表します

## 問 一時保育が利用しづらいという声への対応は

保護者から「予約が取りづらい」「複数の園への問い合わせが大変」といった声があります。実態をどのように把握し、改善につなげますか。

## 答 実態を把握し、改善を検討します

保護者の負担感を認識しており、空き状況の案内などの改善を検討します。

## 問 民間地域型保育事業公募の位置づけは

私的待機児童対策としての位置づけと今後の見通しは。

## 答 私的待機児童解消への大きな一歩です

市街地に多い0～2歳児の私的待機児童解消につながる取り組みです。最短で令和8年度中の開設をめざします。

## 問 近鉄との観光誘客の取り組みは

近鉄大阪線は重要な交通軸です。ダイヤ減を受け、需要を生み出す観光誘客の面から近鉄との連携をどのように進めますか。

## 答 交通と観光を連携し誘客へ（市長）

近鉄が描く中長期的なビジョンや観光戦略を研究し、交通と観光が連携して経営層にも働きかけながら誘客を進めていきたいです。

てらむら きょうこ  
**寺村 京子** 議員

## 質問項目

- 人口減少下における保育提供体制の再設計
- 観光振興ビジョン再策定に向けて



うち原 あつし  
**内原 篤** 議員

## 質問項目

- 命を守るがん検診と命を支える緩和ケア



## 問 がん検診受診率の向上は

今後の伊賀市の肺がん検診の受診率向上に向けては。

## 答 V字回復をめざします

県内最下位の肺がん検診受診率の改善へ、受診機会拡大、無料化、個別通知で受診率向上を図ります。

## 問 市民病院の取り組みは

市民病院において患者とその家族に対する支援が必要では。

## 答 患者と家族を支えます

上野総合市民病院では、地域医療連携室の中に「がん相談支援窓口」を設置し、看護師や社会福祉士があらゆる相談に応じます。

また、がん患者と家族が集まって交流や情報交換をする「おしゃべりサロンin伊賀」を定期的に開催しています。

## 問 緩和ケアの取り組みは

緩和ケアは行政も病院と連携し市民への情報提供を行う必要があると考えますが。

## 答 市民への周知が必要です

緩和ケアの専門的な説明や個別の治療判断は医療機関において実施していただくことが前提になりますが、今後はACP\*と併せて緩和ケアの重要性についても周知していきたいと考えます。

\*ACP（アドバンス・ケア・プランニング）  
将来の医療や介護について、自分の希望を家族や医療関係者と話し合い、共有しておく取り組みで、「人生会議」という愛称で呼ばれています。

# 一般質問

うえだ のりひさ  
**上田 宗久** 議員

**質問項目**

●これからの伊賀市の事業と財政



**問** ごみ処理広域化の方法として、市長は組合設立による公設民営の方針を出しています。事業費と伊賀市の負担割合を教えてください

**答** 公設民営方式の実質負担額は約385億円です

負担割合は、仮に多くの地域で採用されているごみ量割とすると、令和6年度のごみ量実績から伊賀市は54.6%となります。

**問** 市の財政持続性への考えはありますか

ごみ広域化・市民病院の建替え・旧上野ふれあいプラザの3事業が、少しでも重なることになれば、財政持続性にとっての悪

影響は増加します。どう工夫されますか。

**答** シミュレーションを綿密に、財政負担のピークを平準化します

大規模事業を実施する際は、新たな地方債の発行による将来負担の増加が不可避です。事業計画の検討段階から市の財政見通しを綿密に行い、事業実施年度の調整による財政負担のピークの平準化や、各指標の変動から把握される市財政への影響について注視し、持続可能な財政運営の確保に向け適切に対応します。

**問** すべてのこどもに食事と居場所を食事に事欠くこどもや安心な居場所がないこどもが、伊賀市にも現実に存在しています。こどもの生存権をしっかりと保障してください。

**答** こどもの権利を条例で保障していきます (市長)

生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を、策定中の「こどもの権利条例」に定め、保障していきます。その実現のために財政措置を行い、施策を進めます。

**問** 県立あけぼの学園高校募集停止に市の行動を

県教育委員会は、令和10年から同校の募

集を停止すると発表しました。同校が伊賀市で果たしてきた役割をどう守りますか。

**答** 「学びの多様化学校」設置をめざします (市長)

少人数のよさを活かして、不登校経験者や外国ルーツの生徒に寄り添った学びを提供してきました。中高を通じて、学びがこどもに寄り添う環境を整備するため、市教育支援センターの「学びの多様化学校」\*化や他の県立高校との連携などを検討します。

\*学びの多様化学校  
不登校など多様な事情のある児童生徒に対応し、個々の状況に応じた柔軟な教育課程や学習方法で学びを保障する義務教育段階の学校

もりなか ひであき  
**森中 秀哲** 議員

**質問項目**

- こどもの権利条例の理念を踏まえたこどもの貧困対策
- 県立あけぼの学園高校の募集停止に対する伊賀市の今後のアクション



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

## 議会図書室で「政務活動費収支報告書」を公開します

各議員より提出された令和7年度の収支報告書等の写しが閲覧できます。

公開の目的	政務活動費の使途の透明性を確保するとともに、広く市民の皆さんに議員の調査研究活動等を知っていただくため。
閲覧の方法	場所：議会図書室（市役所本庁舎5階） 時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）
閲覧の対象となる文書	①収支報告書 ②行政視察報告書 ③研究研修報告書 ④政務活動費明細書 ⑤領収書又はこれに準ずる書類 ⑥その他添付書類
閲覧の開始時期	令和7年度分は 5月25日（月）から閲覧可能。
閲覧の注意事項等	1. 閲覧書類を閲覧場所の外へ持ち出すことはできません。 2. 閲覧は無料ですが、コピーを希望される場合は、A3以下（白黒）一面につき10円が必要となります。 3. 文書の記載内容に伊賀市情報公開条例に規定する非公開情報が含まれている場合は、その箇所のみマスキング（墨塗り）をしています。
その他	市議会ホームページでは、6月中旬の公開を予定しています。



## 活動報告

出前講座報告書は、市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。 [伊賀市議会ホームページ](#)



### 産業建設常任委員会

#### 出前講座

## 伊賀市農業委員会と意見交換 (2月2日)

### 遊休農地・荒廃農地対策に関する意見交換

産業建設常任委員会は伊賀市農業委員会と出前講座を開催し、遊休農地・荒廃農地問題について意見交換を行いました。

農業委員会の活動状況や地域計画の進捗、草刈り等の保全活動の現状について説明を受け、農地所有者の管理意識の重要性が共有されました。

関連して「あき地の雑草等の除去に関する条例」に基づく指導状況については、多数の通知を行っているものの、宛先不明で届かない事例もあるなど課題を抱えていることが分かりました。

また、農業従事者の高齢化や担い手不足による農地活用の難しさや、農業委員会活動の周知不足などについても意見が出され、引き続き農業委員会活動の理解が進むよう広報の強化などの重要性について話し合いました。

さらに、農業委員会の活動について、委員会の取り組みや農地で季節ごとに多様な作物が栽培されている様子など、農業の実情を身近に感じてもらえる情報を広報誌等で紹介していきたいとの意見も出されました。市民が生活の中で農業に親しみ、関心を高めてもらえるような取り組みを広く知ってもらうことの重要性についても、意見交換をすることができました。



地域農業の未来について話し合いました



### 総務建設常任委員会

#### 出前講座

## 大山田小学校6年生と意見交換 (2月12日)

### 市議会議員と一緒にまちづくりを考えよう！

山田地区住民自治協議会からの依頼をいただき、大山田小学校6年生約40名と意見交換をしました。「市議会って何をしているの?」「市議会議員はどんな仕事をしている人?」「伊賀市と大山田の未来を一緒に考えよう」の3つのテーマで議員が児童の皆さんからの質問に答えました。



市議会の仕事ややりがいを1人ずつお話ししました

### 自分が好き、友達が好き、大山田が好き！

自由質問では、交通や防災、買い物、人権など幅広いテーマについて、地域の将来を見据えた質問が多く、子どもたちが自分たちのまちを大切に考えている様子がうかがえました。市議会として、こうした子どもたちの声を大切に受け止め、今後の議会活動につなげていきます。



たくさんの意見や感想ありがとうございました！

## ようこそ 伊賀市議会へ！

市内小学校の児童のみなさんが、議場見学に来てくれました！



大山田小学校  
令和8年1月14日



## 議員人権研修 令和8年1月23日（金）

### マジョリティ側から差別を考える 見えづらい特権を可視化する

講師：出口 真紀子さん（上智大学外国語学部英語学科教授）

マジョリティ（主流派・多数派）側の特権とは、社会的属性などにより、本人の努力なしに自動的に得ている恩恵や優位性のことです。

マジョリティ側が特権をもつ自身の立場を活かしながら、マイノリティ側と協働し、社会構造を変えていこうと行動することが、差別のない社会への大きな一歩になることを学びました。

今後も、差別を自分事として捉えるとともに、一人ひとりの人権意識と人権感覚の向上に努めていきます。



## 伊賀市・名張市議会連絡協議会 議員研修会 令和8年1月28日（水）

### 伊賀市・名張市の公共交通をどう活かす ～持続可能なまちづくりへの投資戦略～

講師：辻本 勝久さん（和歌山大学経済学部教授）

伊賀市、名張市の市議会議員で構成する伊賀市・名張市議会連絡協議会で毎年開催している議員研修会に、両市の議員 30 人が参加しました。

伊賀市地域交通活性化再生協議会会長でもある辻本さんから、公共交通への投資は地域存続のための戦略的投資であるから、両市で連携して公共交通機能を維持・拡充・活用する施策を実行するべきであることを学びました。



## 政策形成・立案能力向上研修会 令和8年2月4日（水）

### 議員の役割と政務活動費

講師：高沖 秀宣さん（自治体議会研究所代表）

地方議会が担う行政監視機能と政策形成機能の意義を改めて確認するとともに、「議会は本来どのような役割を果たすべきか」「政策形成機能を十分に発揮できているか」との問いを通じ、議員一人ひとりが自らの活動を振り返りました。

具体例を交えた分かりやすい講義のもと、地域課題を的確に把握し、根拠に基づいて政策を構想する姿勢の重要性を再確認しました。また、政務活動費の目的と適正な活用についても理解を深めました。今後も研鑽を重ね、議会全体の政策形成能力の向上に努めていきます。



## 活動報告



### 地域意見交換会を開催しました

伊賀市議会では、令和7年度、住民自治協議会を対象に、市議会議員と市民が自由に情報および意見の交換を行い、よりよい市政や政策提言につなげていくための地域意見交換会を実施しました。それぞれの報告書は、市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

地域の声、  
議員と語ろう！

長田 2月2日(月)

●地域交通



猪田 2月18日(水)

●消防団の担い手不足



山田 2月24日(火)

●地域の複合化施設



伊賀市議会  
ホームページ

### 令和8年6月定例会議会日程 (予定)

会議期間24日間

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3 本会議 (議案上程等)	4	5	6
7	8	9	10	11	12 本会議 (一般質問)	13
14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17 各常任委員会 (予算・決算を除く)	18 各常任委員会 (予算・決算を除く)	19 各常任委員会 (予算・決算を除く)	20
21	22 予算常任委員会	23	24	25	26 本会議 (採決等)	27
28	29	30	7/1	2	3	4

※本会議、予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、本会議初日に決定します。

※日程は、変更になる場合があります。

本会議・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。  
(再放送は午後7時から) また、本会議・各常任委員会・予算常任委員会の模様は、伊賀市議会チャンネル (YouTube) でも録画配信しています。ぜひご覧ください。

### ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

編集  
後記

昨年度は、市内各地域の住民自治協議会にお伺いし、「伊賀市議会地域意見交換会」を開催。多くの皆さまと直接意見を交わす機会をいただきました。各地域からは、身近な課題や将来へのご提案など、さまざまな貴重なご意見をお寄せいただき、改めて市民の声を丁寧に受け止めることの大切さを実感いたしました。

また、中学生議会では、次代を担う皆さんから率直で前向きな質問や提案が寄せられ、大変有意義な取り組みとなりました。

伊賀市議会議員一同、本年度も市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、市政へと反映できるよう努めてまいります。引き続き、ご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。  
(副委員長：内原 篤)

次号は令和8年8月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

# 人と地域がつながって イキイキ 活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介する第12回。今回は歴史と文化が深く息づき、趣のある城下町の上野南部地区住民自治協議会を訪れました。

## Q：上野南部地区の特徴を教えてください。

A：当地区は上野市街地の南西部に位置し、城下町として松尾芭蕉ゆかりの“蓑虫庵”をはじめ、史跡・旧跡など歴史と文化が色濃く残る魅力あふれる街並みです。現在では約1.5km<sup>2</sup>の区域に約1,800世帯、約3,200名以上が居住しており、伊賀市で最も人口密度の高い地域です。

## Q：地域の防災力を高める取り組みをされているそうですね。

A：この地区は昭和34年以前に建てられた木造家屋が多く残り、地域内の道路も狭いことから災害に対しての意識が高く、防災活動には特に力を入れている地区です。上野南部地区市民センターは地域の防災拠点となる避難所として位置づけられ、年に2回の避難訓練と備蓄品の管理に力を入れています。停電に備えての発電機の増強や長期保存可能なレトルト食品、またドライシャンプー、口腔ケア用品など備蓄品リストを作成して在庫数や消費期限の管理を行っています。また女性のメンバーも地域安全部会に参画しており、女性目線からの防災についての考えや意見もいただいています。男女共同参画も意識し、市の女性リーダー研修会への参加など、防災への取り組みを行っています。



女性の視点を踏まえた災害備蓄品の一部



「地域の魅力発見」いがぶら体験

## Q：着地型観光「いがぶら」に参加されたそうですね。

A：ももとは引きこもりがちな高齢者を散歩に出させていただき、地域との交流を深めてもらいたいと考えたことがきっかけです。その活動の中で歴史を後世に残したいとの思いが生まれ、「キラッと輝け！地域応援補助金」を活用し、上野南部地区の歴史文化を冊子にまとめました。地域創生部会として観光イベント「いがぶら」に出展し、上野南部地区の魅力を発信しています。令和7年度は、愛宕神社秋の例大祭「湯立ての神事」に参加し、地域の伝統や歴史の魅力を広くお伝えしました。

## Q：青色防犯パトロールを早くから行っているようですね。

A：平成7年から上野南部地域安全推進協議会の規約に基づき、昼間の駐禁パトロールや徒歩での見回り、夜間の巡回活動を継続してきました。こうした長年の取り組みが現在の青色回転灯による防犯パトロールへと発展しています。市内でも早い時期に青色防犯パトロールを導入し、住民の安心・安全の確保に努めています。また、特殊詐欺防止の啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

## Q：指定管理者制度にしてよかったことは。

A：直営の職員では住民自治協議会活動への支援が限定され運営面に課題がありましたが、指定管理者制度の導入により施設管理と住民自治協議会活動を一体的に進めることが可能となりました。地域主体の運営体制が整い、住民自治協議会の活性化にもつながっています。

## Q：今後の抱負をお聞かせください。

A：人口減少や高齢化が進む中、地域のつながりを大切にしながら住民が誇りを持ち「住んでよかった」と実感できる活力あるまちづくりに取り組んでまいります。



これ、詐欺やで！防犯啓発